



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
令和4年度学校だよりNo.16
令和4年7月14日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

コミュニティ・スクールがスタートしました！

6月23日(木)に高田中学校において、第1回学校運営協議会を開催し、高田中学校区のコミュニティ・スクールがスタートしました。コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会制度」を導入した学校です。学校運営協議会は、教育課程の編成を含む、校長が作成する基本方針の承認を行う権限を有する合議体です。保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映し、目指すところを対等な立場で共有することができるため、学習指導要領でめざしている「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた取り組みを効果的かつ計画的に進めることができるようになります。

「社会に開かれた教育課程」とは、学校の教育課程を通じて、子供たちが社会や世界とつながり、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していける力を積極的に育もうとする考え方です。

第1回学校運営協議委員会では、学校運営協議会の概要説明、組織や年間スケジュールについて、本校、高田小、高田中学校の3校の校長の学校経営の方針の承認をいただきました。これから学校運営協議会委員の皆様には学校においていただき、子どもたちの学習の様子をご覧いただいたり、諸会議等でご意見を頂戴したりして参ります。

< 学校運営協議会委員 >

協議会長	白井 善雄 様	(元中学校長)			
副協議会長	星 健一 様	(元小学校教頭)			
委員	須田満州雄 様	(元高田小 PTA 会長)	秋山 慎也 様	(前高田中 PTA 会長)	
	渡部 徹 様	(高田小 PTA 会長)	佐藤 健 様	(前宮川小 PTA 会長)	
	小島原孝子 様	(地域学校共同活動推進員)	天笠 昌明 様	(認定こども園ひかり園長)	
	天笠 久子 様	(認定こども園きぼう園長)	博多 弘泰	(高田小学校長)	
	坂口 伸	(高田中学校長)	星 潔	(宮川小学校長)	

※ 以上12名の委員でスタートしました。

御田植祭 獅子追童子！

7月12日(火)は御田植祭のために特別休業日でしたが、4～6年生の希望者は獅子追童子に参加しました。あいにくの雨の中ではありますが、「チーム宮川」元気の掛け声で祭りを盛り上げることができました。地域に伝わる伝統行事に参加することで、会津美里町のよさをまた1つ感じることができました。



夏休みに向けて！

夏休みまで登校日はあと3日。教職員、子ども達一丸となって、1学期のまとめに取り組んでいるところです。また子どもたちにとって、安全・安心で楽しい夏休みになるために、事前指導も行っているところです。さて夏休みに向けての連絡、お願いします。

1 プール開放について

今年度も夏休みのプール開放は行いません。理由の1つは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためです。夏季休業中のプール開放は各学級での授業とは異なり、多くの子どもたちが集まります。授業時は2人の教職員の指導の下、ソーシャルディスタンスを保ちながら、水泳の授業を行うことができますが、多学年が集まる場合、それが難しいです。感染症が広がりを見せてきているのも心配です。更に熱中症も心配です。日本水泳連盟では、屋外プールの安全の目安として、水温と気温を足した温度が65℃以上になると、日射病や熱射病に注意し、泳ぐ時間を短くするようにと定めています。この猛暑の中、65℃以上の日にちは数多くなるかもしれません。従ってプール開放できる日にちがどの程度になるか見当が付きません。また、安全管理上の問題もあります。夏休みは、教師だけではプール監視には無理があります。町でプール監視員を募集することはできますが、安全管理面や責任の所在が難しいです。PTAの協力を得ている市町村もありますが、保護者負担も大変だと思います。教職員の複数体制も夏休みの研修があることや働き方改革の面からも厳しいものがあります。また本校では、昨年度と同様、水泳学習は1学期までとしています。夏休みにプール開放を行うと、水質管理等でたくさんの薬品代や水道料がかかります。予算面で他の部分に負担がかかります。以上のような理由でプール開放はいたしません。ご理解ください。

2 メディアとの関り方について

先日の保護者全体会でメディアコントロールのことについてお話ししました。夏休み前に、お子様の使っているアプリやゲームの確認をしていただき、ルールを決めていただきますようお願いいたします。メディアはこれからの時代、絶対に欠かすことができないものです。小学生時代の今だからこそ、からだへの影響や脳への影響が出ないように、そして依存症にならないように、長時間使用を避け、メディアとの付き合い方を自分で考えられるようにしていけるように、私たち大人が導いていくことが大切だと思います。「ルールを決めよう・ルールを守ろう」「時間を決めよう・時間を守ろう」で「チャレンジ メディアコントロール」をよろしく願いいたします。そしてできた時間を読書に使い、脳を鍛えられれば更に良いと思います。

校長のひとりごと

夏の高校野球福島県大会が開幕しました。長男が高校野球をやっていたことでもあります。筋書きのないドラマである高校野球は、ついテレビに見入ってしまいます。どんなに点差が離れても必死にボールに食らいつくその姿に、私は感動してしまうのかもしれません。あきらめない強い心は、時にものすごい大逆転劇を起こすこともあります。2014年夏の石川県大会決勝では、8回を終わって8対0の点差で小松大谷高校が星稜高校をリードしていました。普通ならば勝負あったと思ってしまうでしょう。9回の裏、最後の星稜高校の攻撃です。選手たちの顔は笑顔。なぜならば、星稜高校のチームスローガンは『必笑（ひっしょう）』なので、最後だからみんなで楽しもうと声をかけあっていたそうです。笑顔とあきらめない強い心が奇跡を生み、なんと9回裏に一挙9点を取って逆転サヨナラ勝ちで甲子園出場を決めた星稜高校。しかしこのドラマには続きがあります。翌年の石川大会準々決勝は、同じ星稜対小松大谷の対戦に。そしてこの試合、3対0とリードされていた小松大谷が、九回裏に一挙4点をあげサヨナラ勝ち。まさに悔しさを忘れることなく、あきらめない強い心をもって戦った結果です。笑顔と強い心が信じられない力を生み出します。子ども達にも大切にさせていきたいです。